

第23号様式(第30条)

協働コース実績報告書

令和6年4月5日

(あて先) 鎌倉市長

住所 [REDACTED]

団体名 team HINATA

役職・代表者氏名 代表 真霜 多美子

次のとおり、協働コースの実施状況・実施結果について報告します。
なお、担当者連絡先を除き公開を承諾します。

事業名	team HINATA ハピネス Festival	
実施期間	令和5年5月18日 ~ 令和6年3月31日	
総事業費	769,034 円	
対象となる経費	519,843 円	
市負担金額	500,000 円	
担当者連絡先	氏名	[REDACTED]
	電話番号	[REDACTED]
	Eメール	[REDACTED]

【添付書類】 提出に当たっては、次の書類を添付してください。

(□にチェックをお願いします)

- 協働コース事業完了報告書(第24号様式)
 収支決算書(第12号様式)
 その他市長が必要と認める書類

協働コース事業完了報告書

事業名	team HINATA ハピネス Festival		
市担当課	障害福祉課		
団体名	team HINATA		
事業実施期間	令和5年5月18日～令和6年3月31日		
事業費	769,034円	負担金額	500,000円
事業目的	「今」支援を必要としている団体や地域の方たちへのサポート		
	<p>【達成できた点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無にかかわらずより多くの方が参加・交流できるイベントを開催することで、就労支援事業所等（以下「事業所等」という。）が作成した製品を販売したり、子どもや障害のある方がステージでパフォーマンスしたりする機会を作り出すことができた。 		
	<p>【達成できなかった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所等の出店数が想定より少なく、事業所等へのサポートは不十分であった。 		
事業の成果目標 ※できる限り数値目標 も記載	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回のイベント開催。 ・障害の有無にかかわらず、より多くの出店者、出演者及び来場者がイベントを通じて交流することで、インクルーシブ社会に対する理解を深められるような企画・運営。 ・不特定多数の方が訪れるイベントで事業所等が作成した製品を販売することで、製品の販売数増加及び周知効果を図り、事業所等の活性化とスタッフのモチベーション向上及び持続可能な経営につなげる。 ・ステージ出演に向けて活動に励み、他のパフォーマーとの関わりを持つことにより、子どもたちの心身の健康増進につなげる。 		
	<p>【実績】</p> <p>経費や準備期間が想定を上回ったため、年2回の開催とした。</p> <p>第1回目（5月21日（日）@大船中学校） 来場者数：約1500名 出店者数：55団体（うち事業所等：6団体（うち市内事業所等：4団体））</p> <p>第2回目（11月26日（日）@御成小学校） 来場者数：約1000名 出店者数：44団体（うち事業所等：15団体（うち市内事業所等：5団体））</p>		

事業概要	<p>【インクルーシブ社会の実現に効果的な交流イベント（音楽ステージを含む）の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無にかかわらずより多くの方が参加・交流できるイベントを開催する。 ・イベントのポスターを作成し、事業所等、教育機関、市民等に広く周知する。 ・イベント内で、事業所等が作成した製品を販売できるよう出店の機会を作る。 ・イベント内で、子どもがステージ出演する機会を作る。
事業実施の実績	<p>【実績】</p> <p>○市の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場の調整、確保。 ・事業所等、教育機関、市民等への周知。 ・イベント参加団体の募集に当たり、事業所等と team HINATA の仲介。 ・イベント実施に伴う保健所及び消防署への届出。 ・イベント当日の運営。 <p>○団体の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画、運営。 ・出店団体の募集、調整、取りまとめ。 ・イベント実施に伴う各届出に必要な情報の提供。 ・イベントポスターの作成。 <p>○具体的に行なったこと・時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協働事業協定締結／5月 2. イベント企画／5月（第1回）、6月～9月（第2回） 3. 事前調整／5月（第1回）、6月～11月（第2回） <ul style="list-style-type: none"> ・イベント日程及び会場決定 ・出店団体募集 ・備品等調達 ・会場として借りる学校との調整 ・保健所及び消防署への届出 4. 周知活動／5月（第1回）、10月～11月（第2回） <ul style="list-style-type: none"> ・イベントポスター作成 ・府内各課等との調整 ・市立小中学校、市内支援学校、市立保育園へのポスター配付 ・市内広報版ポスター掲示 ・SNS 発信及び市広報掲載 5. 振り返り及び報告書類作成／5月（第1回）、12月～3月（第2回及び総括）

協働で進めてきた理由	<p>team HINATAは非営利で活動しているキッズダンスグループである。運営は保護者による完全ボランティア、資金はレッスン費用から捻出しており、周知や集客拡充に伴う資金を有していない。</p> <p>協働事業が採択される前に、同イベントを過去3回実施しており（2022年7月現在）、企画力・行動力はあるが、資金不足によりイベントの規模拡大が困難であった。</p> <p>鎌倉市がイベントを広く周知し、より多くの方がイベントに来場することで、インクルーシブ社会の実現に近づけるのではないかと考えたため。</p>
協働の成果・効果	<p>【協働の成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが様々な個性を持つ人たちと交流する場所を作ることにより、豊かな子育てにつなげる。 ・市と協働することでより多くの人に周知することができ、より多くの来場者数を見込める。それにより、事業所等が作成した製品の販売数が増加し、事業所等の活性化とスタッフのモチベーション向上及び持続可能な経営及びインクルーシブな社会の実現につなげられる。 <p>【達成できた点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに出店のなかった地域（横浜市、葉山町）の事業所等が出店参加することができ、福祉の輪が広がった。 ・ステージの参加者について、車椅子など福祉系のダンスチームの参加が増えた。（第1回：17団体のうち4団体、第2回：15団体のうち6団体） ・事業所等の出店が少なかったが、次回のイベントにつながると感じた。理由としては、参加したいが時間が合わないという理由で出店を断念した団体もあったため。（日曜日は休みである事業所等が多いという課題がある。） ・来場者数について、第1回目（大船中学校）は快晴の中で約1,500人、第2回目（御成小学校）は雨で気温が低い中で約1,000人だった。会場の広さ、天候を考慮し、いずれも成功と考えられる。 ・ハンデのある人（自閉症、車椅子、足の不自由な高齢者など）が多数来場し、イベントの回数を重ねるごとに福祉感が増しており、障害の有無にかかわらず、イベントが人々の交流の場になっている。 ・第2回目に初めて福祉用具展示・体験コーナーを設け、ハンデのない人も福祉用具を体験することで障害に対する理解が深まった。 <p>【達成できなかった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定よりも市内事業所等の出店が少なかった。 ・出店者を募る際、情報連携不足により、市内事業所等と主催者の間で、互いの伝えたい情報を正確に届けることができなかった。

	<p>【事業実施前】</p> <p>○市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・team HINATA と市の間で、協定締結や負担金支払の事務処理に要する時間の認識にずれがあり、しっかり細かい部分までスケジュールの共有をしておくべきだった。 <p>○団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市とよい関係性を築いてやりとりができた。
<p>相互評価 ※上手くいったこと、 問題点・課題など</p>	<p>【事業実施中】</p> <p>○市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担はしていたが、細かい部分が曖昧でしっかり線引きできなかったため、役割分担が機能しないことがあった。 ・会場の使用方法等について事前に学校と調整していたが、その内容について team HINATA のメンバー全員に共有できていなかったことから、事前連絡を受けていない自動車の駐車場利用や土足での立入禁止エリアへの入場未遂など、イベント当日に混乱を招いてしまった。 <p>○団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他課で把握している他イベントと日程が重複していることを事前に把握できなかったことや、他課との調整にかなりの時間を要したことから、市の内部連携が不足していると感じた。 ・学校との調整や保健所等への届出等、協働事業であることによってスムーズに進むことがあった。 ・市と協働していることで事業所等の対応が違った。新規団体からの信頼や、今回のイベントでつながった団体から他のイベントに招待されるようになった。 ・メインターゲットである子どもにチラシを配付し、広報活動ができたことは大きい。そのほか、市の SNS をもっと活用できればよかった。 ・第2回目について、風邪が流行る時期の開催だったため、子どもたちの病気が重なり、準備がうまくいかなった。 ・第2回目について、土足で室内に入れるようにする目的で床に汚れや傷を防止するためのマットを敷いたが、そのマットでつまずく人が多数いた。
	<p>【事業終了時】</p> <p>○市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目は紙によるアンケートを行い、第2回目は回答者の利便性や回答率向上を目指し、web によるアンケートを行ったところ、周知不足により1件しか回答を得られなかった。 ・会場となる学校や team HINATA との事前調整時に電話連絡を多く用いていたが、3者それぞれにおいて認識の齟齬があったため、イベント当日に混乱することがあった。今後は文書で調整結果を残し、相互に確認することが必要だと感じた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・team HINATA ならではのつながりを生かし、市だけの呼びかけでは来場、出店を見込めない方々にも参加していただけるイベントになり、多くの方が自然に共生社会を感じられる場ができた。 <p>○団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定を大きく上回る来場者数や、他のイベントより本イベントに出店したいと申し出てくれる出店者がいたこと等、市の周知効果が大きかった。
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の2回のイベントを通してつながった輪を強化し、さらに広げていきたい。 ・イベントに関して、参加団体や事業所等が偏ることなく、いつも同じメンバーにならないように新規の方にも参加してほしい。 ・このイベントを絶やさずに続けていきたい。 ・大規模ならば年1回で身の丈に合ったイベントを続けていきたい。

第12号様式（第16条、第30条、第43条）

団体名 team HINATA

収支決算書

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
協働事業負担金	¥ 500,000	
イベント出店料(事業者負担金)	¥ 269,000 ¥ 34	
端数補填(事業者負担金)		
収入合計	¥ 769,034	
II 支出の部		
会場費	¥ 0	・市内学校を会場としたため
音響等設備費	¥ 54,910	・JBLスピーカー、有線マイクセット ¥41,550 ・インカム ¥13,360
人件費	¥ 208,000	・講師 ¥60,000 ・講師補佐 ¥60,000 ・出演料 ¥20,000 ・出店依頼料 ¥25,000 ・スタッフ報酬 ¥43,000
交通費等	¥ 29,282	・駐車場代 ¥17,480 ・交通費 ¥6,484 ・ガソリン代 ¥5,318
印刷費	¥ 99,748	・A4 カラーポスター30,000枚 ¥68,546 ・A4 カラーパンフレット1,500枚 ¥9,834 ・印刷代 ¥5,685 ・インク・用紙代 ¥15,683
消耗品費	¥ 236,764	・景品代 ¥15,000 ・文房具等事務用品 ¥26,883 ・スタッフTシャツ ¥168,795 ・洗濯代 ¥600 ・のぼり ¥15,124 ・横断幕 ¥10,362
支出合計	¥ 769,034	